

学級開きに向けて～黄金の3日間～

生徒 「新しいクラスは〇〇さんと一緒に良かった。でも〇〇さんとは離れたよ」
「そして担任の先生は〇〇先生やった」
保護者 「どんな先生？」「ああ、〇〇先生ね」「今日はどうやったね」
生徒 「先生からほめられた。やる気のある先生やったよ」

4月の始業式から3日間を「黄金の3日間」というそうです。この期間は、生徒達は新しく来られた先生に対しては「どんな先生か」、前担任であっても「今年度はどんな事を言うのか」と子ども達は興味津々で思っています。だから、この間は騒がずに先生の言うことを良く聞くといいです。そのため、この3日間で学級経営の方針やこれから1年間通用する約束事やクラスのルールをはっきりと示す必要があります。特に、学級開きの夜は、上記のような親子の会話が家庭で行われます。だからこそ、保護者に対して自分の考えや姿勢を示すチャンスだと思います。「こんなクラスにしたい」そんな担任の思いを生徒に伝えましょう。

「楽しさは安心感」

生徒達は新しいクラスと担任の先生に期待と共に大きな不安を抱えています。だからこそ、楽しさと安心感を求めています。学級開きに参考にしてください。

- 1 小さな成長や変化を見逃さずにほめる。そしてみんなで拍手！拍手をあふれさせよう。
- 2 「だれか配ってくれる人はいますか」など、生徒に活躍する場を与えてほめよう。
- 3 「ルールが守れていない人を指摘し合う」正義が通る、当たり前のが通る、クラスの雰囲気を確認しよう。簡単な担任の自己紹介や始業式での生徒の様子を伝える、特に気になる生徒の成長や行動をほめる。そして担任の願いを具体的な例を出して伝える。

始業式、全校集会は生徒の様子をしっかりと見る必要があります。前から横から表情や仕草を見ましょう。良いところを探しましょう。できればメモをするのもOK。担任が目指す姿を、頑張った生徒の姿から伝えましょう。ぜひ何か参考にしてみてください。

～あふれさせたい言葉・無くしたい言葉～（職員室そして教室でも）

ありがとう。いいね、すごいね。うれしい。幸せ。やったー。素晴らしい。素敵。
その調子。おもしろかった。楽しかった。ほっとする。成長したね。助かった。手伝おう。
よく頑張っているね。お疲れ様。何か困っていることは。今日の授業は参考になったよ。
早く帰り。次はもっと頑張れる。できるようになったね。感謝しています。なんとかなる。

無理。声なきためいき。だめ。できない。面倒くさい。否定する言葉。つまらん。
生徒の悪口。あきらめの言葉。他学年の批判。無責任な発言。消えろ。うざい。等

◆5日の学級開きに向けて、生徒へどんな話しをするのか、忙しい中ですが学年の先生方と協力をしながら準備をしていきましょう。新しいクラスでの生徒の表情、学校に連れていなかった生徒の表情、みんなで気をつけて見ていきましょう。